

平成16年度一般会計 決算額

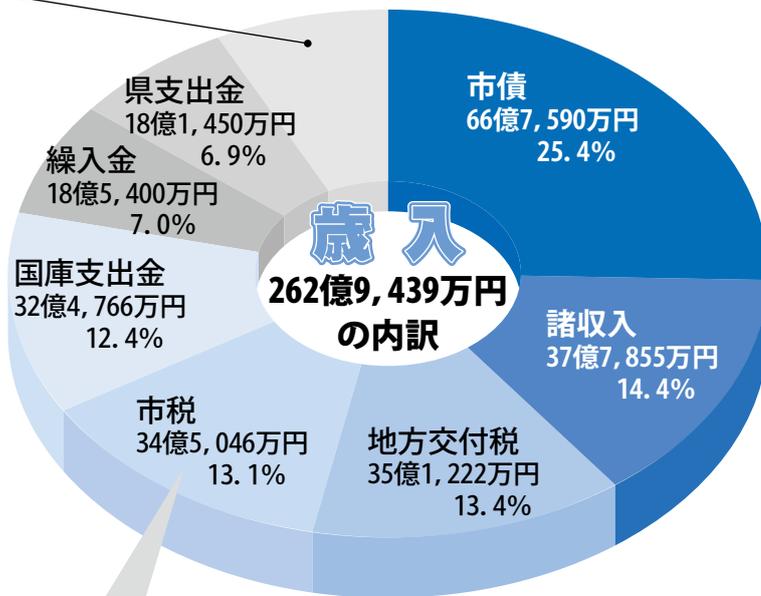
予算額 302億 849万円

歳入 262億9,439万円

歳出 240億5,590万円

- 歳入歳出差引額（歳入－歳出） 22億3,849万円… A
- 平成17年度へ繰り越すべき財源 1億2,355万円… B
- 実質収支額（A－B） 21億1,494万円

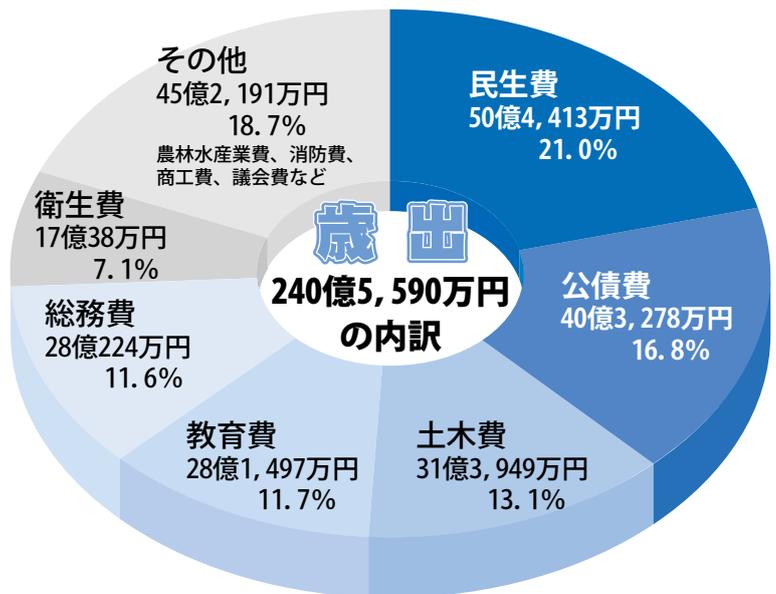
その他 分担金・負担金、使用料・手数料など
19億6,110万円 7.4%



- 市債：特定の事業を行うために、国などから借り入れたお金です。
- 諸収入：合併前の旧市町からの決算余剰金や、市の貸付金で返済されたお金などです。
- 地方交付税：市の財政状況に応じて国から交付されたお金です。
- 市税：市民税や固定資産税など、市民の皆さんに納めていただいたお金です。
- 国庫支出金：特定の事業を行うために、国から交付された負担金・補助金などのお金です。
- 繰入金：市が保有する基金の取り崩しなどで繰り入れたお金です。
- 県支出金：特定の事業を行うために、県から交付された負担金・補助金などのお金です。
- 分担金・負担金：市の事業で特定の利益を受けた人に負担していただいたお金です。
- 使用料・手数料：市の施設の使用や、住民票の交付など、特定の行政サービスを受けた人に負担していただいたお金です。

市税の負担を市民1人当たりで計算すると、その負担額は29,679円になります。内訳は、市民税14,375円（48.4%）、固定資産税12,677円（42.7%）、市たばこ税2,547円（8.6%）、軽自動車税61円（0.2%）、入湯税19円（0.1%）となります。

- 民生費：社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保障するために使ったお金です。
- 公債費：国などから借り入れたお金（市債）の返済などに使ったお金です。
- 土木費：道路、河川、公園、市営住宅などの整備や維持管理に使ったお金です。
- 教育費：幼稚園や小・中学校の整備、社会教育や保健体育など、教育全般に使ったお金です。
- 総務費：市庁舎の維持管理や、戸籍・徴税・選挙・監査事務など、市の総括的な事務に使ったお金です。
- 衛生費：健康診断や各種検診、ごみ処理など、健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金です。
- 農林水産業費：農業、林業、水産業の振興に使ったお金です。
- 消防費：消防や救急業務に使ったお金です。
- 商工費：商工業の振興や観光PRなどに使ったお金です。
- 議会費：議会の運営などに使ったお金です。



歳出（使った額）を市民1人当たりで計算すると、その額は206,916円となります。内訳は、福祉の充実に43,387円（21.0%）、市の借金返済に34,688円（16.8%）、道路や公園の整備に27,004円（13.1%）、教育と文化に24,213円（11.7%）、市の運営に24,103円（11.6%）、防災や災害復旧に18,437円（8.9%）、農林水産業や商工業の振興に18,203円（8.7%）、健康づくりと環境衛生に14,626円（7.1%）、議会の運営に2,255円（1.1%）となります。

市民1人当たりのお金の使われ方は？